

広報委員会

委員長 久芳 明 副委員長 藤原 茂美

1. 役割と基本方針

JIRA活動を広く外部へPRするにあたり、一元化された情報により効果的な広報活動が出来るよう計画・実行してJIRAのイメージ・アップを図る。また、JIRA会員に対する情報伝達についても、タイムリーで分かりやすい内容となるように心掛け、会員企業における情報共有を進めてJIRA活動の活性化を図る。

2. 2017年度の主な活動項目とその成果

2017年はJIRA創立50周年記念の年であり、JIRA内の「50周年記念行事実行委員会」に参画し、50周年記念行事と連動した広報活動として内外にアピールすることに留意した活動を進めた。

(1) 「DataBook 図表で見る画像医療システム産業」の編集、発行

●「DataBook 図表で見る画像医療システム産業 2017」の発行

50周年記念行事の一環として2017年4月11日に発行し、ITEM2017（パシフィコ横浜）の会長記者会見でマスコミへ公表した。

このDataBookは、画像医療システム産業を取り巻く環境や産業の現況が、わかりやすく、明確に読み取れることを目指して、基本となるデータや資料に数行の解説を加えた形として2012年から毎年発刊している。

DataBook 2017では、最新のデータおよび情報に基づく改訂を実施するとともに、全体構成を各項目の繋がり観点で整理し、新たに中分類を導入する等により、より理解しやすくなるような工夫を加えた。また、「3章 医療機器産業の将来展望」を充実させることを目指し、「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて—」やICTを活用した「次世代型保健医療システム」の姿、等について多くの内容を追加した。

「1章 医療機器産業の現状、2章 画像医療システム産業の現状、3章 医療機器産業の将来展望、4章 JIRAの概要、5章 経済医療環境の関連統計」の全5章の構成は維持した。

●「DataBook 図表で見る画像医療システム産業 2018」の編集

「DataBook」発刊の趣旨を踏まえ、2018年版として、最新のデータおよび情報に基づく改訂を実施する中で、実際には薬事工業生産動態統計（年報）等、その後の更新データが入手できない項目もあったが、データの継続性・一貫性を確保する観点からそのまま掲載するものと、既に役割を終えたと判断し削除するものとに峻別し、データの更新・追加・削除を行った。

今回の発刊にあたっては、「3章 医療機器産業の将来展望」を充実させることを目指し、未来投資戦略2017など最新の国家戦略の中から医療機器産業に関係するもの等について多くの内容を追加した。（発行は2018年4月13日）

(2) JIRA会報の発行

●JIRA会報No.204（前年度活動報告特集号）…2017年6月発行（冊子およびWeb）

JIRA50周年記念特別号として各界からの祝辞・回想記を掲載するとともに、例年通り、各部会・委員会の「2016年度活動報告特集」としてJIRA総会時の活動報告会資料とし

て配布した。また、50周年記念ロゴを採用し、表紙についてはカラー印刷とした。

- JIRA 会報No.205 …2018年1月発行（冊子およびWeb）

[会報（1月発行分）編集方針]

「各部会・委員会からのトピックス」については、単なる部会・委員会の活動報告ではなく、会員企業に周知すべき国内外の法規制や国家戦略・施策、医療行政の動き、診療報酬改訂動向、市場情報などのトピックスの解説、またJIRA会報発行時点で内容を整理しておくべきJIRAの対外活動の経過や成果紹介などに特化した。

(3) JIRA テクニカルレポートの発行（技術広報専門委員会）

- No.52（新製品・新技術紹介） …2017年4月発行（冊子およびWeb）
- No.53（日本放射線技術学会秋季学術大会 JIRA 発表会抄録集）
…2017年10月発行（冊子およびWeb）
- No.54（新製品・新技術紹介） …2018年4月発行（冊子およびWeb）

JIRA テクニカルレポートの発行目的は、「会員企業の新製品・新技術を技術的な側面から紹介する場を提供し、特に発表の機会が少ない中小企業・IT企業にも発表の場を提供することにより、JIRAとして企業振興へ寄与すること」である。さらに、「春季、秋季の2回/年、印刷物による発行を基本とし、HP（一般向け）にも掲載する」「非会員であってもITEM展示への参加企業（非会員参加費負担）に対しては同様の趣旨で募集し、JIRA活動への理解とJIRA入会への動機付けとする」との運用方針としている。

(4) 「JIRA 概要（8ページ冊子、日本語版）」の見直し

社員総会終了を受けて、2017年度版として見直しを実施し、会長挨拶、JIRA組織図、市場統計データなどを更新した。

(5) 会長記者会見等、報道機関への配信

報道機関向けにJIRAの事業、工業会活動などを発表する会長記者会見を次の通り開催した。

- 2017 国際医用画像総合展（ITEM in JRC2017）JIRA 記者会見

2017年4月14日 ITEM会場にて会長記者会見を開催し、「2017年度JIRA活動基本方針」「JIRA 50年の歩みと今後の方向性」および「ITEM2017概要」「第14回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査報告書（概要版）」「DataBook2017」について発表した。（出席：14社20名、当日配布したPRESS RELEASE/PRESS INFORMATIONをJIRAホームページで公開）

- 2018年 JIRA 会長 年頭所感記者会見

2018年1月10日 JIRA新年会時に「会長年頭所感発表会」を開催した。（出席：9社15名）

- 報道機関への取材案内配信

2017年6月8日「JIRA平成29年度定時社員総会および活動報告会、50周年記念祝賀会開催のご案内」として報道関係者に配信した。（会員向けの総会・活動報告会のため、質問は不可、写真撮影は制限有り。出席：9社10名）

- 報道機関向け「PRESS RELEASE」「PRESS INFORMATION」の配信（産業戦略室と連携）

2017年4月14日 「2017国際医用画像総合展（ITEM in JRC2017）JIRA 記者会見」

2017年4月14日 「第14回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査報告書」結果概要公開の件

2018年1月10日 「2018年 JIRA 会長 年頭所感」

(6) 医用画像電子博物館 (EMMI) の保守 (EMMI 合同専門委員会)

各装置分野 (X線、MRI、治療装置) の年表更新をほぼ完了し、今後の更新サイクルを5年程度と決めた。

各装置の開発にまつわる談話などを関係者に取材し、今後、公開手段を検討する。

(7) その他の活動

●平成29年度「こども霞が関見学デー」展示への参画 (2017年8月2、3日)

「こども霞が関見学デー」は文科省を中心に25府省庁等が連携して業務の説明や省内見学などを行い、親子のふれあいを深め、子供たちが広く社会を知る機会とするとともに、各施策への理解を深めてもらうことを目的に毎年実施されている。

JIRAでは厚生労働省医政局経済課医療機器政策室からの協力要請を受け、2012年より毎回展示要請に応じており、評判も良い。

厚生労働省コメント：「複数参加可能のシステムを活用したクイズと熟練の接客術で最も人気のあるブースの一つ」

●JIRA 創立50周年記念行事への参画

JIRA 創立50周年記念「医療機器産業入門—画像医療システムを中心として—」の出版、および記念ビデオの作成にあたり、それぞれの編集に協力した。

●JIRA NEWS の配信

「JIRA NEWS」を月1回「会員会社」へ電子配信した。(事務局)

●広報委員会開催実績

広報委員会の開催：20回／2017年度

3. 2018年度の活動計画概要

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」を踏まえた「2018年度 JIRA 活動基本方針」に沿って広報活動を展開する。

産業戦略室と協力して、グローバルな視点で戦略的広報を推進する。

(1) 「DataBook 図表で見る画像医療システム産業」の編集、発行

画像医療システム産業の現状・将来を JIRA ステークホルダー (行政・マスコミ・研究機関・会員企業など) に理解していただく目的で資料集の体裁として2012年に創刊した「DataBook 図表で見る画像医療システム産業」を、2017年度内に掲載内容の更新・見直しを行い、2018年4月に発刊した。発刊後は、資料をさらに充実させていくために次号の企画も行う。

(2) 刊行物の発行

下記の出版を JIRA ホームページに掲載する形で行う。

さらに、JIRA 概要、JIRA 会報、JIRA テクニカルレポートについては紙媒体でも発行する。

- JIRA ニュース (担当：事務局) (発行予定：1回/月)
- JIRA 会報 [トピックス編] (発行予定：2019/1)
- JIRA 会報 [活動報告編：総会用] (発行予定：2018/6)
- JIRA テクニカルレポート (発行予定：2018/10)
- JIRA 概要 (日・英) (発行予定：2018/7)

(3) 医用画像電子博物館 (EMMI) の保守 (EMMI 合同専門委員会)

技術広報専門委員会、海外広報専門委員会、EMMI（医用画像電子博物館）合同専門委員会等の広報委員会関連組織との連携を強化し、JIRAホームページを活用したタイムリーな情報発信に努める。

(4) JIRA ホームページの品質維持、向上

2017年5月にリニューアル公開したJIRAホームページの運用状況を注視し、発信する情報の品質の維持向上に努める。さらに、2017年度中に行う2ndステップとしてのCMSの導入や、登録者への更新情報の自動通知機能などの活用により、事務局主体である運用面での改善とJIRA会員数拡大への貢献を目指す。

(5) 会長記者会見等、報道機関への配信

会長記者発表会の準備・運営を行う。プレゼンテーションデータの準備にあたってはビジュアル化に努め、デザイン性を向上させてプレス関係者への十分なアピールを目指す。

● [ITEM時] JIRA 会長記者会見 : 2018/4

● JIRA 会長年頭記者会見 : 2019/1

その他のJIRA定例行事に合わせてプレス関係者を招聘し、広報活動としての情報発信に努める。

● JIRA 社員総会／活動報告会 : 2018/6

● JIRA 画像医療システム産業研究会 : 2018/12

(6) 厚労省／医機連イベントへの協力

● こども霞ヶ関見学デー厚労省医政局経済課展示エリアに出展 : 2018/8